

令和6年能登半島地震における 災害対策資機材を活用した救出救助(石川県珠洲市等)

3か年緊急対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

概要 要:石川県珠洲市において、令和6年能登半島地震により倒壊した家屋に閉じ込められた要救助者を救出するため、3か年緊急対策により整備した救助用支柱器具(レスキューサポート)を使用し、要救助者・救助隊員の安全性を確保した上で要救助者を救出した。

対策名:41 警察における災害対策に必要な資機材に関する緊急対策<3か年緊急対策>【警察庁】

- 実施主体:警察庁、福岡県警察等
- 実施場所:石川県珠洲市等
- 事業概要:倒壊家屋等の現場において、要救助者及び救助隊員の安全を確保し、救出救助等を実施するために必要な資機材(救助用支柱器具(レスキューサポート)約20式)の整備を実施する。
- 事業費:約1.3億円
(うち3か年緊急対策による事業費約1.3億円)
- 効果:石川県内では、多数の家屋が倒壊し、当該倒壊家屋内に閉じ込められる事案が多数発生した。
福岡県警察は、石川県珠洲市内で倒壊家屋に閉じ込められた要救助者を救出するため、3か年緊急対策により警察庁から全国警察の特別救助班(P-REX)※に配備された救助用支柱(レスキューサポート)を有効に活用して倒壊家屋等を安定化させ、要救助者及び救助隊員の安全を確保した上で、要救助者を救出した。

※ 極めて高度な救出救助能力を必要とする災害現場において活動する部隊であり、16都道府県警察に約240人体制で設置されている

救助用支柱器具(レスキューサポート)を使用した救助活動

